

第35号



ニュース

URL ; www.tops-h.net/

加盟団体

- ・サンフレッチェ広島
- ・JTサンダーズ
- ・湧永製菓
- ・広島メイプルレッズ
- ・広島ガスバドミントン部
- ・NTT西日本広島ソフトテニスクラブ
- ・中国電力陸上競技部
- ・コカ・コーラウエストレッドスパークスホッケー部
- ・広島東洋カープ

2011年度 広島市民賞受賞



1月26日広島市役所市長公室で、広島市民賞の表彰式が行われた。この賞は広島市の発展に寄与または市政に関して功労があり、市民の未来に夢と希望を与えた団体、または個人を表彰するものである。

今回団体からはトップス広島の他に可部山岳会、広島国際オペラスタジオ、広島市観光ボランティアガイド協会の計4団体、個人では為末大選手が選ばれた。

式の中で松井市長は受賞者に対して感謝と今後の活動への期待をコメント。またDoスポーツなどの活動については「これから先も子供達が楽しくスポーツが出来るように、しっかりした施設を整備していきたい。」と述べた。

表彰式に参加した山下理事長は「9団体がますます団結し目標であるスポーツ王国広島の復活を目指して行きたい。受賞出来たのは素晴らしいことなので、今まで以上に頑張っていきたい。微力ながら広島のスポーツが活性化するようにしたい。」と受賞の喜びを語った。



←受賞式の様子

優勝に向けて始動



21年ぶりの優勝に向けて2月1日から沖縄・日南にキャンブインした。

猛練習をしているチームはキャンブ11日目に、名護市で対日本ハムの練習試合が行われた。会沢選手のソロホームランや、迎選手達の活躍もあり4-2で快勝。しかし、14日の阪神との練習試合は2-6で敗れ、守備の課題も見つかった。しかし若い選手達が力をつけ、一層レギュラー争いが過熱しそうである。

3月には地元広島でオープン戦もある。キャンブで鍛えてきた選手たちの仕上がり公式戦前にチェックしに足を運ぼう。注目のドラフト1位ルーキーの野村投手の登板もあるかもしれない!!

- マツダスタジアム開催
- オープン戦日程
- (チケット好評発売中)

3/6(火)	巨人	13:00~
3/10(土)	ヤクルト	13:00~
3/17(土)	中日	13:00~
3/25(土)	ソフトバンク	14:00~

僅か2秒...

逃した優勝

●結果

2位	森本 卓司	47分36秒
14位	池淵 智紀	48分56秒

2月11日に兵庫県姫路市で開かれた第52回姫路城ロードレースで、森本選手が2位入賞を果たした。2位という結果ではあったが、1位との差はわずか2秒。僅差に涙をのんだ。池淵選手は14位だった。

中国電力 陸上競技部

3選手入賞ならず

●結果

11位	清谷 匠	47分49秒
40位	藤原 昌隆	50分20秒
42位	白濱 三徳	50分28秒

佐賀県唐津市で2月12日に開かれた第52回唐津10マイルロードレース大会に清田・藤原・白濱選手が出場した。残念ながら3選手とも入賞には手が届かなかったが、11位だった清谷選手は1位と1分以上の差はなかった。藤原選手は40位、白濱選手は42位という結果だった。

駒澤李佳選手 最優秀選手賞受賞



「チームが優勝したから頂けた。素直にうれしい。」と話したMFの駒澤は2月10日に発表された2011年ホッケー日本リーグでの最優秀選手賞に選ばれた。コカ・コーラWRSでは初の受賞となる。この賞は各チームの監督などの代表者の投票で決まる。

今回、最優秀選手賞を受賞した駒澤選手は2010年にグラクソ・スミスクリンより移籍加入したのち、ゲームキャプテンを務め、全9試合に先発出場。見事日本リーグ初優勝に貢献した。

コカ・コーラWRSからは他にも、日本リーグ補強選手として参加したDF 筑井が9得点を挙げて最多得点選手賞を受賞。ベストイレブンに駒澤と筑井、GKの吉川、MF小野、DF 朴の5人が入った。

2012年日本リーグの試合も5月19日にコカ・コーラWRSホッケースタジアムでグラクソ・スミスクリンとの対戦が決まっており、勢いを掴んだコカ・コーラWRSには今季も大いなる活躍が期待出来る。



最優秀選手賞	MF 駒澤李佳
最多得点選手賞	DF 筑井利江
ベストイレブン	MF 駒澤李佳
	DF 筑井利江
	GK 吉川由華
	MF 小野真由美
	DF 朴善美

全国各地で開催されている日本リーグ。2月は地元広島でも試合があり、地元サポーターが熱い声援を送る姿も見られており、かなりの盛り上がりを見せている。

現在3位のメイプルレッズは2月12日にHC名古屋と対戦。この試合は今まで怪我で欠場していた植垣選手がフル出場。試合開始に5点連続先取、堂面選手のナイスセーブもあり、前半終了した段階で13-4とリード。後半開始直後も5点連取で流れをつかんだ。最終的に29-12と快勝した。プレーオフ進出への貴重な1勝となった。

北國銀行のプレーオフ進出が決まり、残り2枚のプレーオフ切符をめぐり、最後の最後までしのぎを削る展開になりそうだ。

3月17日には東区スポーツセンターでファン感謝デーも開かれる。対象は小学生以上で選手と一緒にゲームを楽しめる。

●女子新人選手

No.14	塩見 綾香	P	大阪体育大
No.18	増田 寛那	LB	大阪教育大
No.19	塩田 真奈美	P	東海大
No.20	伊藤 友姫	RB	福岡教育大
No.22	高橋 佑奈	CB	日本体育大

●試合結果

1/28	●メイプル	25-16	オムロン○
2/4	△メイプル	25-25	北國銀行△
2/12	○メイプル	29-12	HC名古屋●
2/18	△メイプル	24-24	北國銀行△
2/19	△メイプル	19-19	ソニー△



JT	● 0-3	FC 東京
	○ 3-2	豊田合成
	○ 3-1	大分三好
	● 0-3	堺
	○ 3-2	パナソニック
	○ 3-0	サントリー
	● 1-3	東レ
	● 1-3	FC 東京

(2月25日現在)

3月10日 Jリーグ開幕

ビッグアーチで注目の対決



現在、宮崎で2次キャンプを行っているサンフレッチェ広島。2月1日に2012シーズンの日程発表を受け、開幕戦のキックオフも14時に決まり、キャンプでの練習にも一層熱が入っている。

森保監督にとって船出となる一戦となる開幕戦の相手は、今季覇権奪回を目指す浦和レッズ。昨季まで6年間広島を率いたペトロヴィッチ監督や広島ユース出身で元広島の柏木選手や槇野選手との対決ということもあり、関係者が「開幕戦最大の注目カードになること間違いない」と話すほど、この上ない一戦になることが予想される。



選手たちはこのゲームに全てをかけ、これ以上ない気持ちで開幕戦に挑むであろう。

誰もが注目しているこのカードは3月10日、広島ビッグアーチで開催。是非とも勝利を収め今季の弾みをつけてもらいたい。

地元で 少年少女ハンドボール大会

LEOLIC

新人選手を加え、プレーオフ進出に向け試合に臨むワクナガレオリックは2月18日に、湧永満之記念体育館で地元の小学校のハンドボール大会を開催した。「スポーツの面白さ」「チームで団結することの大切さ」「努力することの素晴らしさ」を伝えることを目標に1978年よりスタートした地域社会でのハンドボール教室。今回参加した小学校のチームは選手たちが半年間教えてきた子供達の大会。小学3年生から参加できるこの教室からは、2008年に今活躍している坂本選手も誕生している。

子供達は試合で素晴らしいプレーを見せていた。試合に出ていた子供達が将来トップ選手としてプレーする日を楽しみにしていた。



●男子新人選手

No.5	成田 幸平	LB	大阪体育大
No.7	東江 太輝	LB	日本体育大
No.19	新名 亮介	CB	日本体育大

選手・スタッフ一丸

一部残留へ



ヨネックス杯バドミントン広島オープン大会が2月12日、広島グリーンアリーナで行われた。広島ガスからは、男子ダブルスに井上まり・菊山ペア、シングルスに井上春奈が出場。試合が始まると会場の視線を集め、注目を浴びた。

また、2月26日に広島ガスバドミントン部は1部2部入替戦を迎える。

昨年とは逆の立場にあり、追われる立場ではあるが選手からは、「守りに入らずスタッフも控え選手もみんなでひとつになって頑張ります。」と入れ替え戦に向け選手スタッフ共に一致団結することを語り、宮本監督は、

「1部リーグでの7試合は決して無駄ではなかった。自信をもって今まで通りにやっていく。試合に絶対はない。いい流れをつくって力を出しきって頑張る。」と入替戦への意気込みを語っていた。監督も選手も目標はひとつであり、一致団結して頑張る意欲を見せてくれた。いい結果が出るよう、応援していきたい。

佐々木・大庭ペア

3位入賞 2年連続優勝逃す



2月6日に全日本インドアソフトテニス選手権大会が開催された。この大会は昨年の全日本ランキング(総合)に基づき選出され、年度を締めくくるとの大会。男子からは堀・長江ペア、村上・高川ペア、女子からは佐々木・大庭ペア、埜田・小林ペアが出場した。

女子の佐々木・大庭ペアが第3位ということで、2年連続3回目の優勝には手が届かなかった。埜田・小林ペアが予選リーグ1勝1敗、男子の堀・長江ペアが予選リーグ2敗、村上・高川ペアが1勝1敗という結果となった。

今回の試合内容を佐々木選手は「1つ1つのショットが甘く、相手に切り返されたのが印象的。」と振り返る。5月のGWに行なわれるアジア選手権予選会に標準を向けて、予選会で出そうとしているテニスをイメージしながら3月の大会に臨む。ペアである大庭選手もまた、ショットの精度の甘さ、サービスゲームを取れなかった点を振り返っており、予選会に向け意欲を見せていた。

3月の10日・11日には地元広島で海外選手を招待してのアジアカップひろしま国際大会がある。この大会で韓国世界チャンピオンなどの強豪に勝ち、2年連続のアベック優勝を狙う。また、男子の高川選手はこの試合が引退試合となる。こちらも目が離せない。



*** ロゴマークの意味 *** 広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。